



北斗句会 八月定例会（七日 偕行社） 兼題「夕」「水」

五十音順 特選は特選 石田きよし選

陽炎へるタクラマカンの平沙かな 大崎石州

七夕や未だ追ふ夢句に託す 太田黒幸風

闇を混ぜ流螢闇を深めけり 大森康政

特 少しづつ癒ゆる手応へ花カンナ 川瀬 亮

清正を偲びつつ汲む宮清水 竹内雲泉

雲の峰ただ坦々とオホーツク 田中資凡

特 一湾を包む夕風潮満てり 長池豆陽

暗闇に江戸風鈴の音かすか 深見十萬

大仏のわきに居座る炎暑かな 藤田紀潮

夕月が庭に魅かれて眠気去る 宮下ひかる

晩鐘の古都鎮もれり大夕焼 森田光彦

観覧車夕焼雲に呑みこまる 山縣秀雄

特 南風背に貯水池超えてフェアウエイ 吉岡誠山



比島より父帰還せし大夕焼 石田きよし